

飲食店の属人化を解消、現場から利益を生む組織へ。 soeasyが飲食特化版サービス3形態を同時リリース

～「これマネ」山川氏の教育動画200本を標準搭載。双方向のナレッジ共有で“ピークでも崩れない”店づくりを支援～

「おしえあうって、すばらしい。」をスローガンに、組織内DXによる人材育成や、教育・おしえあいの文化醸成を、AI搭載のアプリやプロが制作するビジネスショート動画で後押しする株式会社soeasy（本社：東京都千代田区、以下 soeasy）は、2026年3月29日（肉の日）より、飲食店経営に特化した「soeasy buddy for restaurant」「soeasy buddy for 麺」「soeasy buddy for 焼肉」の3形態を同時リリースすることをお知らせいたします。

本サービスには、飲食店プロデュースの第一人者である株式会社これマネ CEOプロデューサー・山川博史氏が提供する、実践的な教育動画コンテンツ200本を標準収録しています。



｜開発の背景と信念：なぜ、飲食業界特化で提供するの？｜

飲食業界では深刻な人手不足の中、スタッフの早期戦力化と定着が経営上の極めて重要な課題であると言われています。しかし現場では、教育が口伝に頼ることで内容が属人化し、教える人によってバラつきが生じるといった課題が山積しています。近年は外国人スタッフが在籍する店舗も多く、言葉の壁による教育の難しさも浮き彫りになっています。

こうした教育の形骸化や精度の不安定さは、客単価の低迷やピーク時のオペレーション崩れ、店長不在時の運営不安といった経営課題に直結すると考えられます。

soeasyが飲食業界へ特化する理由、それは、飲食店の利益最大化の鍵は、現場スタッフが互いに教えあうことで生まれる「ワクワクする現場」にあると考えるからです。一方的な「トップダウン」の教育だけでは、スタッフの主体性や一体感を生み出すことが困難であり、スタッフは「自分の貢献」や「成長」「店舗への愛着」を実感しにくく、早期離職を招く要因になります。

店長一人のスキルに依存せず、双方向のコミュニケーションを起点とする「おしえあいカルチャー」の醸成を仕組み化することで、属人化を組織の資産へ変え、持続可能な利益成長を実現するために本サービスを構築いたしました。

| 提供開始するコンテンツの概要 |

1. 現場発信の「生きたナレッジ」を増やす双方向コミュニケーション

soeasy buddyは、本部からの指示を下すだけでなく、現場スタッフがスマホで撮った「仕事のコト」をその場で共有できる双方向のプラットフォームです。

•おしえあいタイムライン

連絡事項や成功事例、仕事のノウハウを画像・動画でリアルタイムに共有します。

•エモUI/UX

独自のスタンプやコメント機能により、感謝や賞賛を可視化。組織の心理的安全性を高め、定着率向上に寄与します。現場の知恵を資産化し、店舗の状態を透明化することで、属人化を防ぎ、多店舗展開においてもサービス品質の均質化を実現します。



コンテンツ名	本数	合計時間	動画言語
日本の生活オリエンテーション	423本	2.5時間	英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語
防災 やさしいほんご	86本	30分	日本語
ビジネスマナー	52本	1時間	日本語
日本語教育 (N1~N5)	250本	90時間	日本語
日本語教育 (N4~N5)	100本	36時間	インドネシア語
日本語教育 (N4~N5)	100本	36時間	ベトナム語

※外国籍社員の在籍状況やその他要望に応じてご提供します

2. AIと多言語翻訳が「教える手間」を削減

•多言語自動翻訳

189言語に対応。タイムラインやトーク、動画字幕まで自動翻訳が可能です。外国人スタッフを雇用する店舗でも、言葉の壁を超えた円滑な教育を実現します。

•AIアシスタント「buddyくん」

過去の投稿やマニュアルから最適な情報を提示します。教育チェックリスト作成やFAQのまとめなど、現場の「教える・探す・考える」を劇的に効率化します。

3. 即戦力化を実現する「これマネ教育DX」200メソッド

飲食店プロデュースの第一人者である株式会社これマネ CEOプロデューサー・山川 博史氏が提供する実践的な教育動画コンテンツ200本を標準収録。

「稼げる組織」へと変貌させるためのオンライン教育プログラムが視聴し放題になっています。

充実のコンテンツ

集客、数字管理、接客教育、衛生管理など、約200本のメソッドにより、導入したその日から専門的な店舗教育をスタート可能。



山川 博史 氏

一般社団法人これからの時代の・飲食店マネジメント協会 代表理事
株式会社これマネ CEOプロデューサー

1971年長崎県生まれ

飲食業界での現場経験と経営危機を乗り越えた実践的知見をもとに店舗経営・業態開発・組織再生・教育支援を一貫して行う。

現在は300店舗以上の継続支援実績を持ち、経営者と現場をつなぐ“戦略的パディ”として、組織変革・教育DX・プロジェクトプロデュースを手がける。

専門家との連携による課題解決支援、教育機関や自治体との地域連携人材育成にも注力し、著書・講演も多数。



| soeasy の想い |

わたしたちsoeasyは、現場の「おしえあい」を通じて、スタッフが貢献感や成長、そして店舗への愛着を実感できる場を創出します。そして、店長個人のスキルやパワーに依存しがちな運営をチームの力へと変え、属人化を解消し、飲食業界の持続可能な利益成長を支援してまいります。

| サービス形態と料金プラン |

- soeasy buddy for restaurant 【料金例】
- soeasy buddy for 麺 初期費用：35,000円～
- soeasy buddy for 焼肉 月額利用料：4,000円～（5ID）

本件に関するお問い合わせ

株式会社soeasy 広報

mail pr@soeasy.tokyo